



バタンバンでの私の英語教育

CHHOEM SOSAKKONA

チェム ソサコナ

私のはたらく中学校





名前	カッコス中学校
場所	カンボジアのバタンバン
教師	19人
クラス	9つ
としょかん	1つ
教師のりょう	1つ (3部屋)

学校の生徒数

生徒	450人（7年生－9年生）
男の生徒	170人
女の生徒	280人
7年生	190人（女：110人）
8年生	150人（女：98人）
9年生	110人（女：72人）

学校のスケジュール

時間	月	火	水	木	金	土
7:00-8:00						
8:00-9:00						
9:00-10:00						
10:00-11:00						
14:00-15:00						休み
15:00-16:00						
16:00-17:00						

生徒：週に30コマぐらい

先生：週に18コマぐらい

制服

- 白いシャツとこんか黒のズボン（男）
- 白いシャツとこんか黒のスカート（女）

校則

- みじかいかみ（男）
- 肩までか、ながいかみはむすぶ（女）



昼ごはん

食べる所

しょくどう

きょうしつの中

きょうしつの外



一部の生徒は、うちからべんとうをもってくる。

中学校のかもく

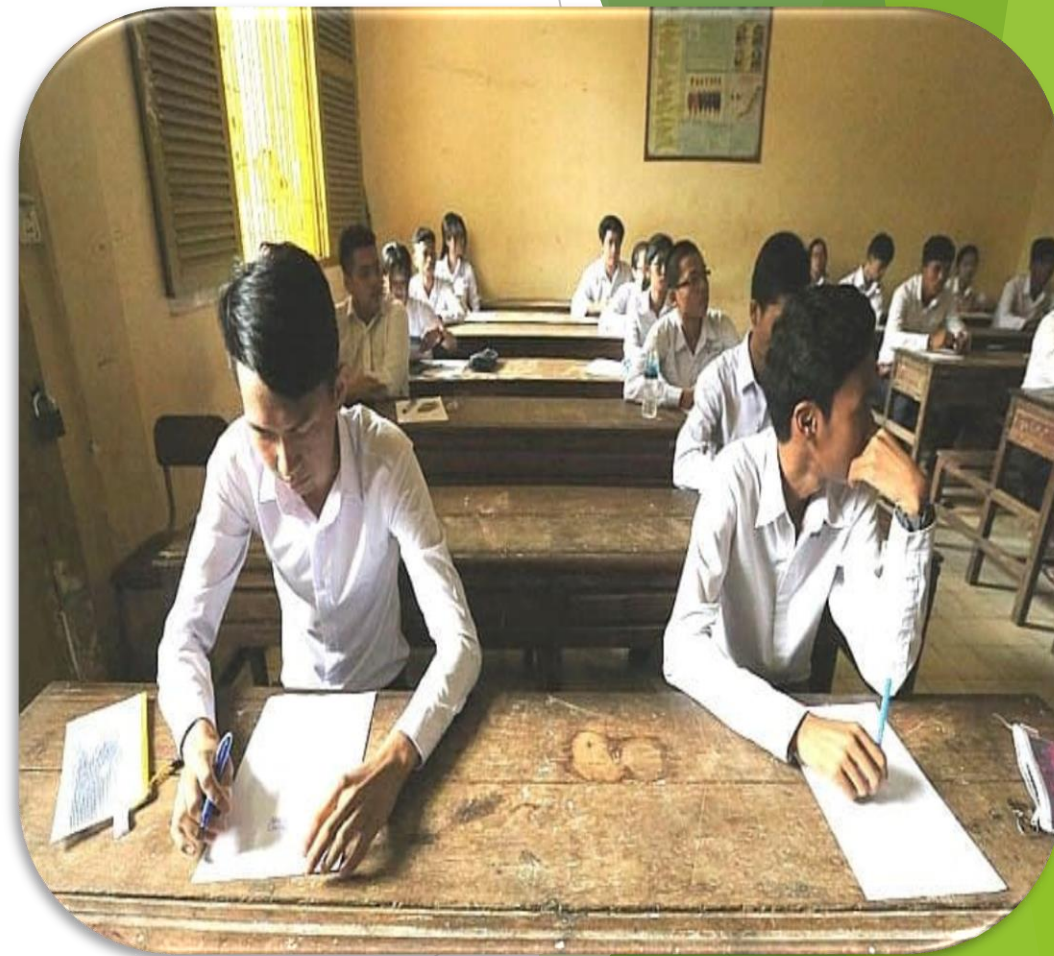
- こくご
- すうがく
- ちり
- れきし
- こうみん
- かていか
- ぶつり
- かがく
- せいぶつ
- ちがく
- がいこくご
- たいいく
- (のうぎょう)

スクールカレンダー

- ❖ 11月：学期開始
- ❖ 11-3月：1学期
- ❖ 4月：休み
- ❖ 5-8月：2学期
- ❖ 9-10月：休み

しけん

- 毎月のテスト（7年生，8年生，9年生）
 - 月末につける
- きまつテスト（7年生，8年生，9年生）
 - 1学期：3月
 - 2学期：7月
- 修了テスト（9年生）
 - 8月

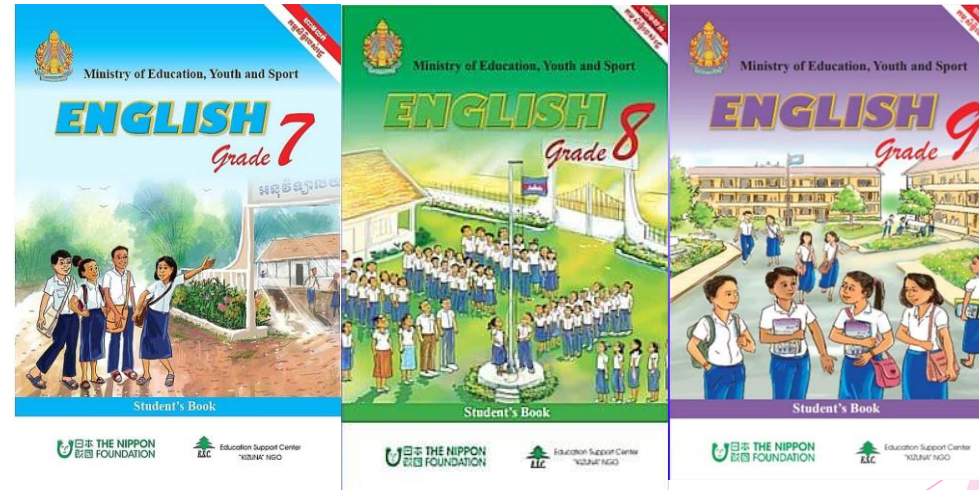


英語のじゅぎょう

週に4時間 (2回) [1回=2時間]

□ 授業で教えること

- 書く
- 聞く
- 読む + ぶんぽう
- 話す + ぶんぽう

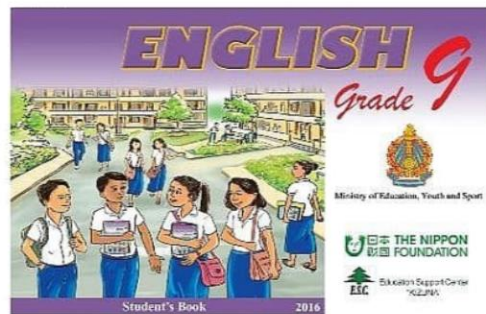


(教科書)

書く

+教材

- 教科書
- 紙
- ホワイトボード
- 写真、ステッカー



❖ 「書く」じゅぎょうのほうほう

1 : どうにゆう

- ふくしゅう

- じゅぎょうにかんするしつもん

2 : 教科書で（5 - 10文字）、何人かの生徒にホワイトボードでディクテーションをさせる。

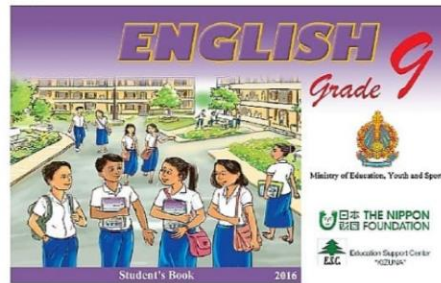
3 : 教師はいくつかのえをみせて、生徒にそれらのことばを書かせる。

そのご、教師はクラスをまわってかくにんする。

聞く

きょうざい 教材

- きょうかしよ
- CD プレーヤー
- レコーダー
- スピーカー



❖ 「聞く」じゅぎょうのほうほう

1 : どうにゆう

- ふくしゅう

- じゅぎょうにかんするしつもん

2 :

- ステップ1 : 教師はテキストを読み、生徒にメモをとらせる。

- ステップ2 : 何人かの生徒にそのメモをほうこくしてもらう。

- ステップ3 : クラスぜんたいでこたえあわせをする。

3 : 生徒が各レッスンのテープスクリプト、うたやたんぺんえいがからまなぶ（単語）。

新しい単語をおしえ、もういちどCDやテープをきかせる。

4 : 教師は自分できょうかしよを讀んでろくおんし、きょうしつでさいせいする。

生徒はそれをきく。

読む

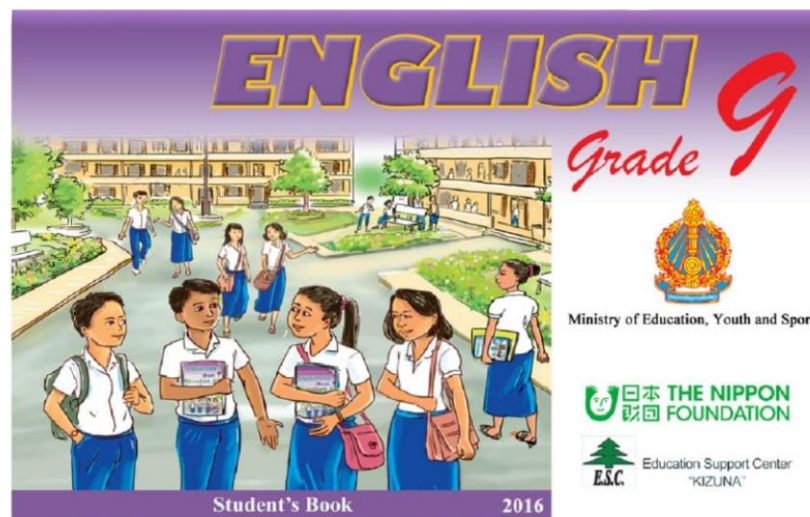
□ 教材

きょうかしよ

●教科書

●ホワイトボード

●かみ



❖ 「読む」じゅぎょうのほうほう

1 : どうにゆう

- ふくしゅう

- じゅぎょうにかんするしつもん

2 : 生徒にすう分間静かにテキストを読ませる。

3 : じゅぎょうちゅうに何人かの生徒におんどくさせる。

つぎに教師が読み、生徒はリピートする。

4 : ゲーム（読書で泣く／読書でわらう）

話す

□ 教材

- しつもんカード
- きょうかしよ
- 写真
- 紙



❖ 「話す」じゅぎょうのほうほう

1 : どうにゅう

- あいさつ
- ふくしゅう
- じゅぎょうにかんするしつもん

2 : グループワーク/ペアワーク

- グループわけをする。
- しつもんやトピックをあたえる。
- ディスカッションをしてもらう。
- 何人かの生徒にディスカッションをほうこくさせる。

3 : ロールプレイ

- 教師と生徒はいっしょにとくていのトピック（家族や友達などについて）でロールプレイをする。
- 教師は生徒にさまざまなトピックをあたえ、生徒どうしでかつどうする。




結論

今、英語は勉強や日常生活にとってとてもじゅうようだ。英語ができたら、

生徒はこうかてきに こうとう教育に行くことができる。英語はかれらの道

ときかいをひろげる。

そして、教師ができるのは、かれらにできるだけしゅうさせることだ。



ありがとうございました

